

地域の人たちとの社会的相互作用でアップデートする子供の学び

I はじめに

今日の学校教育の話題の一つに地域協働型の学習活動がある。これは学校教育に地域の資源や専門知識を活用することで、児童生徒に対して実践的かつ現実的な学びの場を提供するためのものである。このような学習活動は、知的障害のある児童生徒の日常的な経験と連続的に結び付ける状況を設定しやすいため、特別支援学校との親和性も高い。そのため従来から継続的に行われてきているが、昨今ではコミュニティスクールの展開の一部として再評価されてきている。

本校でもこれまで、地域協働型の学習活動を多様に展開してきた(資料参照)。その効果について、児童生徒の学習に向かう姿勢やその後の言動の変化から、彼らにとって地域協働型の学習活動は有益な学びの場となっていることは確かである。しかし、これまでこういった学習活動が子供たちの学びにどのように作用しているか、ということに関して本校では十分に整理する機会がなかった。

そこで本研究では、本校で行われてきたこれまでの取組を手掛かりに、地域との接点をもたらす児童生徒の学びへの作用について検証し、地域協働型の学習活動が拡充していく流れの中で、地域との接点を取り入れた学習活動に取り組んでいくための視点を検討する。

なお、本研究における「地域」概念は、テーマ・コミュニティ(金子ら,2000)の考え方を参照する。テーマ・コミュニティとは「ビジョン、価値観、関心などを共有する人たちの集まり」(柴垣,2013)を指す。本研究では、周辺市町村も含めて学習活動に協力していただいた方々を地域の人としている。

II 本校の議論

はじめに、これまで取り組んできたことを基盤にこれからの取組を考えていくため、地域と接点のある学習活動について「これまでの取組」「今後やってみたい取組」の2点を各学部で話し合い、地域と関わる上での大まかな方向性を整理した。

各学部から出てきた内容をKJ法で取束したところ、6つのまとまりができた(図1)。

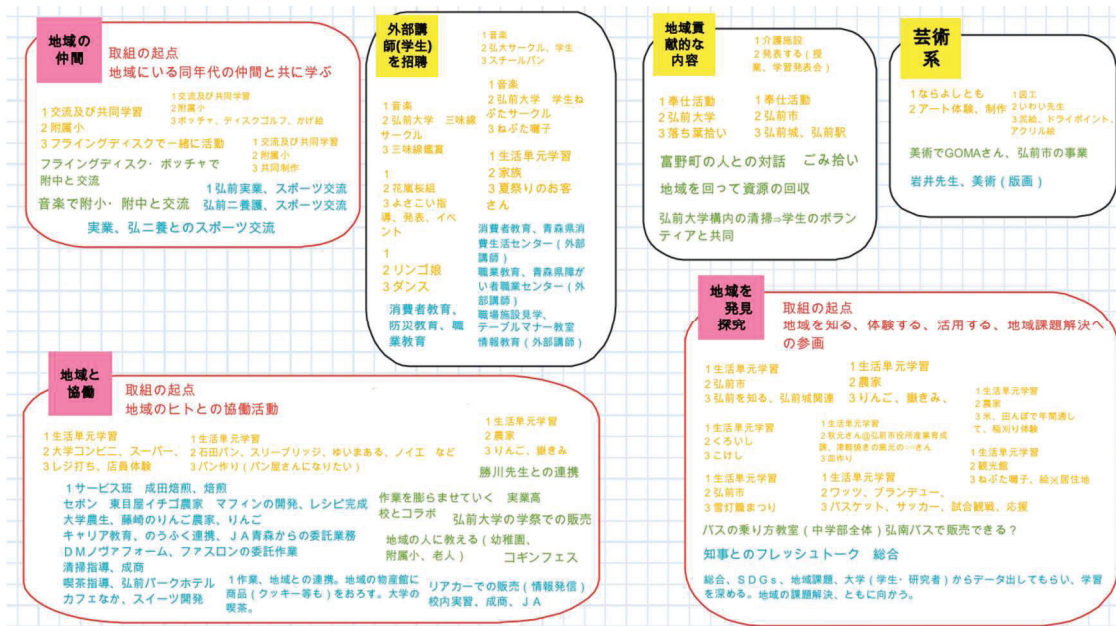


図1 各学部の話し合いまとめ(黄:小学部 緑:中学部 青:高等部)

本研究では、このうち「地域の仲間」「地域と協働」「地域を発見探究」の3つのまとまりに焦点を当て、それぞれの内容に応じた実践に取り組むことにした。なお、他のまとまりの内容については日常の取組の中で継続して行っていくこととしている。

Ⅲ 研究の目的

子供たちが地域のつながりを実感しながら学び合うことを通して、一人一人が地域とつながり、共に学び合う学習活動の在り方を検討する

Ⅳ 研究方法

3研究グループ（学部縦割り編成）に分かれて実践研究を行った。効果検証はそれぞれの実践の内容に応じた評価方法を適用している。これらの研究グループの取組をもとに、地域と接点のある学習活動における児童生徒の学びについて全体のまとめを行うこととした。

<p>地域の仲間</p>  <p>地域にいる同世代の仲間との、お互いの学びや相互理解を大切にした交流及び共同学習</p>	<p>地域と協働</p>  <p>地域の方々と話し合い、アドバイスをもらいながら製品作りやサービスの提供を行うなど、地域の中で展開する学習</p>	<p>地域を発見探究</p>  <p>自分たちの住む地域の良さや課題に目を向け、調べ学習や体験を通して学びを深めていく学習</p>
---	--	--

Ⅴ 研究計画（2カ年）

授業実践は2期に分けて実施した。2期目の授業実践は1期目の実践の成果の検証や他事例への適用、または1期目の課題を受けた修正案の実施をするための期間とした。

1年次	2022.04～07	研究グループ編成 研究グループの研究構想・実践計画
	2022.08～12	[第1期]授業実践
	2022.01～03	[第1期]授業実践の成果と課題 [第2期]授業実践に向けた計画（見直し、調整）
2年次	2023.04	実践計画
	2023.05～07	[第2期]授業実践
	2023.08～10	実践のまとめ、研究のまとめ

なお、参考資料（表1）として、これまでの本校の地域協働型の学習活動例を示す。

表1 本校の地域協働型の学習活動例

地域資源を活用した学習	
団体等名	取組内容
こどもの森ビジターセンター	生活単元学習（小学部低学年） 「秋を探そう」
弘前大学囃子組	音楽（小学部全学年） 「ねぶた囃子鑑賞・体験」
弘前大学教育学部 准教授 勝川健三	作業学習（中学部） 「綿花作り、紡糸作業」
弘南バス NPO法人まちもびデザイン、モビリティープロ モーション	生活単元学習（中学部全学年） 「バスのマナー教室（オンライン）」 生活単元学習（中学部、高等部） 「メゴイカの使い方」
弘前大学	中学部作業製品販売学習
弘前大学生協、弘前市職業訓練校、就労継続A型 事業所みのり、シェアハウスラポール	総合的な学習の時間（中学部） 「施設職場見学」
弘前市地域産業魅力体験事業 津軽千代造窯	美術（中学部） 「津軽焼制作」
カフェイリス	作業学習（高等部サービス班） 「オリジナルスイーツ考案、助言」
弘前パークホテル	作業学習（高等部サービス班） 「接客マナーの心得の学習（オンライン）」
弘前コーヒースクール	作業学習（高等部サービス班） 「コーヒー焙煎教室」
津軽千代造窯	作業学習（高等部プロダクト班） 「陶芸の基本、用具の使用法」
全国消費生活相談員協会	生活単元学習（高等部全学年） 「消費者教育（契約の基本、スマホ課金のトラブル等）」
NTTドコモ スマホ・ケータイ安全教室	生活単元学習（高等部全学年） 「情報モラル教育（インターネット上のコミュニケーション等）」
KDDI スマホ・ケータイ安全教室	生活単元学習（高等部全学年） 「情報モラル教育（ネット依存等）」
NPO法人青森県防災士会	生活単元学習（高等部全学年） 「防災教育（豪雨災害について考えよう）」
青森県エアロビック連盟	体育（保健体育）全校 「楽しく動こう！！エアロビ教室」
柴田学園大学 岩井康頼	図画工作（美術）全校 「どろ絵（小学部）、かげ絵（中学部）、版画（高等部）」
スキー場から委託されているスキー指導員	スキー教室（小学部）
交流及び共同学習	
学校名	取組内容
附属幼稚園	作業学習（中学部作業班）
附属小学校	図工、生活単元学習（小学部全学年） 生活単元学習（小学部すみれ学級） 作業学習（中学部作業班） 音楽（中学部全学年）
附属中学校	保健体育（中学部全学年）・音楽（中学部全学年）
弘前実業高校	保健体育（高等部全学年）
弘前第二養護学校	保健体育（高等部全学年） 「ポッチャ」

【参考・引用文献】

金子郁容，鈴木 寛，渋谷恭子（2000）『コミュニティ・スクール構想』岩波書店。

柴垣 登（2013）「特別支援学校におけるコミュニティ・スクールの活用についての考察～特別支援学校における『地域』概念に着目して～」『京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報』第2号，京都教育大学大学院連合教職実践研究科，pp.90-103。